

■■■■ ワークショップでのご意見・ご質問について ■■■■

【評価について】

■B' +F' 案の財政負担について

- ・B' 案とF' 案を合体させるとなぜ財政負担の評価が低くなる（コストが高くなる）のか不明

↓

<B' 案とB' +F' 案の費用の差>

B' 案 22 億円の費用削減

B' +F' 案 7 億円の費用増加

費用の差 29 億円

今後 50 年間にかかる費用比較表

費用の種類	施設名	B' 案	B' +F' 案	差
改修改築	南小	解体 1 億円 売却 ▲2 億円	デイ・健康センターなど （福祉施設とするため改修、 その後更新時期に建替え） 8 億円	9 億円
	東小	解体 1 億円 売却 ▲1.5 億円	解体 1 億円 公園 2 億円	3.5 億円
	西小	解体 1 億円 売却 ▲1.2 億円	コミュニティ施設 （コミュニティ施設とするため 改修、その後更新時期に建替え） 10 億円	10.2 億円
	費用計	▲1.7 億円	21 億円	23 億円
維持運営	施設を市が所有しているか否かにより 費用に差が生じる			6 億円

■地域のまとまりや中心性、活性化について

- ・公共施設を集約した場所を地域の中心とするのは無理があるのでは
- ・公共施設を集約しただけで地域が活性化するとは思えない

↓

<計画（案）への反映>

- ・湯東体育館にコミュニティ機能を集約し、地域の核となる施設として整備
- ・ただ施設を集約するのではなく、集約に併せた施設の改修、駐車場の拡充などを行い、利用しやすく、イベント開催もしやすいように工夫

【附帯事項（機能の維持）】

■機能の維持について

- ・潟東体育館に集約化する際は、これまでの機能の維持を実施してほしい
- ・今ある機能がなくなったり使えなくなったりすることがないようにしてほしい



<今後の進め方>

- ・地域別実行計画策定後、潟東体育館への集約化に向けて詳細な検討を行う中で、必要な機能を確認し、機能の維持に努める
- ・集約化後に今ある施設を廃止するなど、使えなくなる時期を極力少なくするように努める

【附帯事項（学校跡地）】

■避難所について

- ・各小学校は避難所として使い続けられるようにしてほしい



<計画（案）への反映>

- ・小学校を民間活用する際は、一時避難所とすることを条件とする
- ・西小、南小については、公共施設の配置状況を考慮し、短期滞在も条件とする

■旧南小学校の跡地利用について

- ・テーマ設定には議論が必要
- ・今のうちに売却、貸付などして維持コストを削減すべき
- ・旧南小学校だけでも市で維持できないか



<計画（案）への反映>

- ・さまざまなお意見があり、また、H33年3月まで使用されることから、活用方法を継続検討

■学校跡地の民間活用について

- ・売却後にどのように整備、運営されるか分からなく不安だ



<今後の進め方>

- ・民間活用にあたり、民間事業者の意向調査を実施するなど、可能性を把握
- ・跡地を民間活用する際は、地域のみなさんと協働で条件を整理した上で、プロポーザル形式で事業者を選定するなど、将来像が分かるように進める

【附帯事項（個別施設）】

■子どもの居場所について

- ・子どもの居場所となる施設や多世代交流の施設が必要



<今後の進め方>

- ・児童館を建設するなどハード面での整備ではなく、コミセン化される潟東体育館や、新設される潟東小学校の学校開放などを活用し、ソフト面での充実を図っていく

■文化3施設について

- ・集約した方がいいのでは



<計画（案）への反映>

- ・歴史的背景などを考慮し、当面の間、現在地で存続
- ・将来世代に負担を残さないため、運営方法の見直しを行い、経費削減を図っていく

■ひまわりクラブ跡地について

- ・売却してしまうのは問題ではないか



<今後の進め方>

- ・地域の利用状況などをふまえ、自治会への譲渡なども視野に入れ検討していく

■給食センターについて

- ・小学校の移転の際に一緒に移転した方がよいのでは



<計画（案）への反映>

- ・給食センターはまだ新しいことから、現状のままとする
(将来的には、学校への複合化や、他地域の給食センターと統合する可能性あり)
-